



清風会  
はやし たかし  
林下 豊彦  
とよひこ  
議員

## コロナ禍での対応

**問** コロナ禍が長期におよび、経済活動は低迷し、子どもたちも貧困に陥っているが、鯖江市では把握しているのか。また、今後の貧困対策についての考えは。

**答** 表面化しにくく十分に把握できていないが、子育て家庭や貧困家庭を孤立させることなく、寄り添った相談ができるよう体制の整備に努めていきたい。

**問** コロナ禍における鯖江市施設の利用制限の基準は。

**答** 水際対策・安全対策を講じながら、各所管において利用者への配慮等も十分に検討を行った上で決定している。

**問** 鯖江市役所内での障がい者雇用の状況はどうか。

**答** 国の基準は満たしている。仕事の内容や職場環境については、総務課内に設置したサポートオフィスが機能しており、雇用者へのアンケート結果からもおおむね満足しているとの回答をいただいている。

**問** 鯖江市内の公共施設のLED化はどの程度進んでいるか。

**答** 市では、改築および大規模改修を実施する公民館や学校など、市民の避難所や防災拠点になる施設から優先的にLED化を進めている。



清風会  
はやし たかし  
林 太樹  
たいき  
議員

## 新型コロナ感染症について

**問** ワクチン接種の実施計画は。

**答** 一般高齢者約1万8千人の7月末接種完了に向け、市内34の医療機関の協力の下、6、7月の集団接種で、1万回分以上の接種体制を確保している。

**問** 市民の命と健康を守る新型コロナ感染症の対策は。

**答** 市長 現在は変異株が主流。県は濃厚接触者以外にも積極的にPCR検査を実施している。市民の理解と協力を得ながら、県の「おはなしはマスク」を徹底し密を避け、換気をすることなど、コロナ感染対策を丁寧に取り組んでいきたい。ワクチン接種は、

市医師会の協力をいただきながら、接種を進めているが、初めてのワクチンで不明な点が多く、不安もあると思われるため、分かりやすい情報提供に努め、任意接種ではあるが、できるだけ多くの市民にお願いしたい。このコロナ禍の危機に理事者および職員が一丸となって闘い、市民の皆さんと力を合わせて乗り越えていきたい。



「おはなしはマスク」徹底しよう



市政同志会  
ふくはら としひろ  
福原 敏弘  
議員

## 鯖江市のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進について

**問** 自治体でDXが必要な理由とデジタル人材の育成は。

**答** 人手に頼っている作業や業務を大幅に自動化できる環境が整ってきたため、人手に頼らないとできないもの以外は、コンピューターやネットワーク上のロボットやシステムに任せ、自動化を追求することで、より迅速で効率的な業務遂行を図っていく。また、これまで人手がなく手を出せなかった業務や新たな仕事に取り組めるようになり、より人に優しく丁寧な行政サービスが提供できると考えている。人材育成は、行

政サービスを自動化するための設計ができる職員、よりよい行政サービスを創造し提案できる職員、デジタル技術を見つけ業務に取り組んでいく職員、常に問題意識を持って改革していこうとチャレンジする職員の4つの目標を掲げ、全職員がDXの推進を業務改革の契機であるというような認識の下で研修会を開催する考えである。



DXの推進で業務改善を